

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)ケアシェルパ	代表者	佐鳥 均	法人・事業所の 特徴	利用者様一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での暮らしを継続することが出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者様の心身の状況、希望及び置かれている環境を踏まえて、通いのサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。
事業所名	小規模多機能ホーム あたがわ	管理者	高岡 睦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	10人	1人	人	12人	人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			職員全員（パート含む）で取り組み、ミーティングも2/3以上の常勤職員が参加出来ているので職員全員の意見が反映されている。	自己評価の項目の内容について、理解出来ていない職員もいて、無回答の部分が多かった為、事前に理解を深める。
B. 事業所のしつらえ・環境			ご家族様や地域の方が入りやすく、居心地がいい空間になっているとの意見が多かった。遠方から来られない方からは配布しているアルバムを見ると良い感じが伝わって来るとの意見もあった。	カラオケやピアノ、バンド演奏の際は窓を閉めて近隣へは必ず、お断りを入れて行うようにして対策しているが、引き続き実践して行く。
C. 事業所と地域のかかわり			オープン3年目となったが、まだまだ地域の方に小規模多機能施設について周知されていない。	近隣中学校と定期的に授業の一環で1年生から3年間交流していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			事業所以外のご近所の方との関りについて、報告をしていなかったため、周知されていなかった。	今後、推進会議等で事業所利用者様以外の方との関りについても報告する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議を2ヶ月に1度行っており、案内も配布しているが、ご家族様や一般の参加者が少ない。	毎月曜日に開催していたが、今後曜日変更（日曜日等）も検討していく。防災訓練、イベント等と同日の開催も検討実施していく。

F. 事業所の 防災・災害対策			事業所の防災訓練は年 2 回行っ ていて利用者様も参加している が、他の方の参加がほとんどな い。	今後、防災訓練の実施案内をご家 族様や近隣の方へも配布する。
--------------------	--	--	--	-----------------------------------